

みやざき 県議会の動き

No.75

10

2020

令和2年10月1日発行
宮崎県議会広報紙／年6回偶数月発行

県議会では、新型コロナウイルス感染症の感染防止に取り組んでいます。



7月臨時会



議長定例記者会見

閉会後は議長定例記者会見を行い、新型コロナウイルス第2波への備えや本県の地域経済の再生・復興等につながる今回の補正予算について、県民が安心して生活できるよう、知事部局に対して着実な事業の取組や早急な予算執行を求めました。

7月臨時会の概要

7月臨時会は、7月20日から7月22日までの3日間にわたって開催されました。新型コロナウイルス感染症による県内の様々な影響に対応するため、知事より、令和2年度宮崎県一般会計補正予算(第6号)の提案がなされ、慎重な上にも効率的な審議を行った結果、原案のとおり可決しました。

熊本県に災害見舞金を贈呈しました

8月26日、令和2年7月豪雨で甚大な被害を被った熊本県に対し、徳重副議長より宮崎県議会からの見舞金を贈呈しました。今回の災害により、亡くなられた方々の御冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。



熊本県議会池田議長(中央)・洲上副議長(左)に見舞金を贈呈する徳重副議長(右)。

国土強靱化対策の更なる推進を国へ求めました

近年、全国各地で自然災害が頻発しており、県民の命を守るために必要な社会資本の整備促進が求められています。県議会では、これまでも機会を捉え、社会資本の着実な整備促進に係る意見書を国に提出し、国土強靱化対策の更なる推進を求めました。6月26日、丸山議長が河野知事と国土交通省を訪問し、6月定例会で可決した意見書に基づき、防災・減災、国土強靱化をはじめとする社会資本整備の着実な推進や必要な予算の確保について要請しました。



国土交通省 山田技監(中央)に意見書を提出する丸山議長(左)。右は河野知事。

常任委員会

常任委員会は、所管部局の施策について幅広く調査し、また、議案などを適切に審査するために、県議会の閉会中にも委員会の開催や現地調査を行っています。ここでは、それぞれの委員会の最近の活動を紹介します。

総務政策常任委員会

総合政策及び行財政対策を所管しており、県の総合計画、県税、危機管理、地域の活性化等について審査しています。

7月委員会 県当局から、新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算をはじめ、国文祭・芸文祭みやざき2020大会延期に係る今後の取組等について説明を受け、質疑及び提言を行いました。

県内調査 延岡市では、国民スポーツ大会等に向けた県体育館整備の取組、延岡市民協働まちづくりセンターの市民活動支援の取組、高千穂町では、IT人材育成プロジェクトの取組、日向市では、津波避難施設整備の取組、SNSを活用した災害情報収集・分析事業の取組についてそれぞれ調査しました。



往還2号避難タワー(日向市)

厚生常任委員会

福祉保健行政の推進及び県立病院事業を所管しており、福祉、保健衛生、医療等について審査しています。

7月委員会 県当局から、新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算をはじめ、本県の自殺の現状や子どもの貧困対策等について説明を受け、質疑及び提言を行いました。

県内調査 宮崎市では、新県立宮崎病院の整備状況、木城町では、認定こども園へ移行した石井記念のゆり幼稚園の運営状況、西都市では、(株)CoCoRoファームの農福連携の取組、延岡市では、延岡児童相談所の児童虐待相談対応等の状況をそれぞれ調査しました。



県立宮崎病院(宮崎市)

商工建設常任委員会

商工観光振興対策及び県土整備の推進を所管しており、商工業や観光の振興、企業の誘致、道路や河川の整備等について審査しています。

7月委員会 県当局から、新型コロナウイルス感染症の拡大で落ち込んだ観光業に対する活性化事業等について説明を受け、質疑及び提言を行いました。

県内調査 宮崎市では、宮崎駅西口広場の整備状況、西都市では、県立産業技術専門校の取組、日向市では、一般国道327号永田工区の整備状況、東郷メディキット(株)の取組、延岡市では、一般国道218号干支大橋耐震補強工事の状況、コロナ禍の観光業等への影響と対策について、それぞれ調査しました。



一般国道218号干支大橋(延岡市)

環境農林水産常任委員会

環境対策及び農林水産業振興対策を所管しており、環境や農業、林業、水産業の振興等について審査しています。

7月委員会 県当局から、新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算をはじめ、家畜人工受精師への行政処分等について説明を受け、質疑及び提言を行いました。

県内調査 都城市では、農事組合法人ECOマッシュの菌床生しいたけの生産規模拡大の取組、高原町では、(株)高嶺木材の高原工場における木材加工流通施設等整備の取組、小林市では、北きりしま田舎物語推進協議会の農泊の取組、宮崎市では、ジャパンキャビア(株)の海外輸出・HACCPの取組をそれぞれ調査しました。



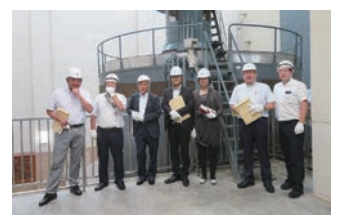
農事組合法人ECOマッシュ(都城市)

文教警察企業常任委員会

教育及び警察行政の推進並びに公営企業の経営を所管しており、学校教育、警察、県が行う電気事業、工業用水道事業等について審査しています。

7月委員会 県当局から、産業教育の学科を有する県立学校における実習設備の整備や警察活動における新型コロナ対策に必要な資機材の整備について説明を受け、質疑及び提言を行いました。

県内調査 宮崎市では、宮崎運転免許センターでの高齢者の運転免許の自主返納状況、都城市では、岩瀬川発電所の発電状況、小林市では、小林市におけるICT教育の取組状況、今年4月に開校した県立小林こすもす支援学校の状況をそれぞれ調査しました。



岩瀬川発電所(都城市)

特別委員会

特別委員会は、県政の重要課題のうち特定の課題について、その解決に向けた提言ができるよう、1年を通じて専門的な調査を行っています。ここでは、それぞれの委員会の最近の活動等を紹介します。

新型コロナウイルス等感染症対策特別委員会

最近の活動

6月の委員会においては、保健所、衛生環境研究所、県立病院など、現場で新型コロナウイルス感染症に対応している県の関係機関から対応状況の説明を受けました。

また、7月の委員会には、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている商工会連合会、飲食業生活衛生同業組合など商工・飲食関係の6団体が出席し、会員企業の経営の現状などについて意見交換を行いました。



商工・飲食関係団体との意見交換

スポーツ振興対策特別委員会

最近の活動

7月までの委員会において、第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会の開催準備状況や、当該大会に向けての競技力向上対策の取組、スポーツランドみやぎの現状と取組について県当局から説明を受けました。

委員からは「県がリーダーシップを発揮し、市町村とも密に意見交換しながら取り組んでほしい」、「スポーツ合宿地としての宮崎の長所・短所を把握するためにも、他県との比較分析を行ってほしい」等、多くの意見が出されました。



県当局からの説明及び意見交換

持続可能な地域づくり対策特別委員会

最近の活動

6月までの委員会において「宮崎県総合計画におけるSDGs」や「中山間地域の振興」、「地域経済循環を支える再生可能エネルギー」について県当局から説明を受けました。

また、7月の委員会では宮崎産業経営大学客員教授の緒方哲氏から「本県の地域経済循環」について説明を受けるとともに意見交換を行いました。



緒方氏との意見交換

9月定例県議会のご案内

テレビ広報「県議会だより」ほか

●放映内容

代表質問、常任委員会の審査状況、議案の採決結果等

代表質問者 **二見 康之** 議員(宮崎県議会自由民主党)
山下 博三 議員(宮崎県議会自由民主党)
渡辺 創 議員(県民連合宮崎)
河野 哲也 議員(公明党宮崎県議団)

●放映局 **UMK(テレビ宮崎)** ※放送日時は変更になる場合があります。

●放映日時 10月22日(木) 午後2時50分～3時45分
 10月23日(金) 午後2時50分～3時45分

県議会をもっと皆さんの身近に感じていただけるように、「開かれた県議会」の取組の1つとして、テレビ広報を行っています。

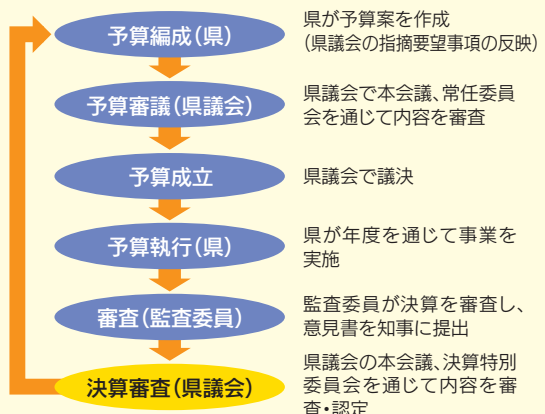
また、過去1年間に放送した「県議会だより」を、動画配信サイトYouTubeの「宮崎県議会公式ちゃんねる」にて配信しています。



9月定例県議会決算審査

9月30日(水) 本会議、決算特別委員会
 9月30日(水)～10月2日(金) 決算特別委員会(分科会)
 10月7日(水) 決算特別委員会
 10月9日(金) 本会議(9月定例県議会閉会日)

●予算・決算の流れ



高速道路網の早期整備に向けた取組

「ミッシングリンク」の早期解消、

暫定2車線区間の早期4車線化等を目指して



県議会では、東九州自動車道及び九州中央自動車道の整備促進を図るため、県内の市町村、市町村議会、各種経済団体など約150団体に参画いただいて「高速自動車国道建設促進宮崎県期成同盟会」(会長は県議会議長)を組織し、国や関係機関への粘り強い陳情・要望活動に取り組んでいます。

本期成同盟会をはじめとした活動により、今年4月に九州中央自動車道の「蘇陽〜五ヶ瀬東」間が国道218号蘇陽五ヶ瀬道路として事業化されるなど、本県の高速道路は着実に整備が進んでいます。

今年7月22日には、県議会議員や知事をはじめ、各市町村長や経済団体の代表など約110名が出席して、本期成同盟会の総会を開催しました。

総会では、道路関係予算の確保や東九州自動車道及び九州中央自動車道の早期整備、暫定2車線区間の早期4車線化や高速道路利用者の安全性・利便性向上などを国等に強く

要望することを満場一致で決議しました。

本県における高速道路の整備は、産業の活性化や観光交流はもとより、県民生活の向上など地域の個性ある発展に極めて重要であり、早期完成は県民の悲願となっています。

また、南海トラフ地震等の大規模災害時の救援物資や救急医療の代替・支援ルートとなる「命の道」として、高速道路の早期整備は急務となっています。

県議会では引き続き、県民の皆様とともに、県内の高速道路網の早期整備に向けて全力で取り組んでまいります。



新型コロナウイルス感染症の感染防止対策

議会棟における感染防止対策として、これまでもマスク着用や手指消毒を行っておりますが、9月定例会から、本会議場の議長席、演壇及び質問者席にアクリル板を設置し、更なる感染防止対策に努めております。



県議会本会議・委員会を傍聴することができます。

傍聴の際は、マスク着用や手指の消毒、検温の実施等、感染症対策へのご協力をお願いいたします。

本会議の傍聴 (県議会議務局 総務課 TEL:0985-26-7215)

本会議を傍聴するには、傍聴券が必要です。傍聴券は、本会議の当日午前9時30分から、県庁2号館入口の傍聴券受付で先着27名(車いす利用者用4席を含む。)に交付することとしています。なお、午前9時30分までに上限数を超えている場合は、抽選となります。また、傍聴控室でのモニター視聴も可能です。

委員会の傍聴 (常任委員会:議事課 TEL:0985-26-7216 / 特別委員会:政策調査課 TEL:0985-26-7217)

委員長の許可を得れば傍聴することができます。定員は各委員会とも10名です。委員会の当日午前9時30分から、議会棟2階正面玄関の議会受付でお申し込みください。

県政に対する要望や意見を提出することができます。

県民の皆様の県政に対する要望や意見を請願として県議会に提出することができます。採択された請願は、県の行政の中に取り入れられるように知事に送付したり、国に対して意見書を提出します。



令和2年11月定例県議会

11月定例県議会は、11月20日(金)から12月9日(水)までの日程で開催される予定です。
※ 日程は変更になる場合があります。



宮崎県議会
Miyazaki prefectural assembly



宮崎県議会
公式フェイスブック



表紙の花 : キンモクセイ(花言葉は、名誉、栄光)